

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

(岐阜県 令和 3 年度)

市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種等名又は卸売市場名	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成30年)	1年後 (平成30年)	2年後 (令和元年)	3年後 (令和2年)	目標値 (令和2年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
岐阜市	ぎふ農業協同組合	土地利用型作物(稲)	被災前に比べて農畜産物の生産量を1%以上増加	育苗枚数 74,936箱 (平成30年度)	-	育苗枚数 79,094箱 (令和元年度)	育苗枚数 79,221箱 (令和2年度)	育苗枚数 75,686箱 (令和2年度)	571%	被災前に比べて育苗箱の出荷枚数が5.7%増加した	育苗施設の復旧(水害を受けた播種機等の機器入替)	11,880,000	5,500,000	0	0	6,380,000	H31.3.8	平成30年7月豪雨により冠水した育苗施設内設備等の復旧を行い、令和元年度以降の水稲生産に支障がないように当該地域の生産基盤の回復を図った。また、復旧した施設を活用しながら、業務用米・加工用米・飼料用米等、ニーズが高まっている用途向けの品種の生産拡大に向け、新品種の多収栽培の試験栽培や、生産者の意欲向上を目的とした独自の収量を競うコンテスト「多収名人コンテスト」等を実施するとともに、こうした取り組みを各組織間の会議や研修会で周知・情報共有を図った上で、営農活動を実践するため配置された水稲TACが中心となり、生産者に対し生産拡大を呼びかけを行った。その結果、特に業務用米向け品種の「みつひかり」の育苗枚数が、平成30年度の2,472箱から令和2年度の4,228箱へ1,756箱増加し、令和2年度の出荷育苗枚数の合計は、平成30年度の74,936箱(作付面積:440.0ha)から4,285箱増加し、79,221箱(作付面積:464.6ha)となった。	平成30年7月豪雨により冠水した育苗施設内設備等の復旧を行い、令和元年度以降も育苗箱の生産枚数を回復した。これにより当該地域の生産基盤が安定化したことと、業務用米・加工用米・飼料用米等、ニーズが高まっている用途に向けた品種の生産拡大の推進により、特に業務用米を中心に出荷育苗枚数が増加した。	

都道府県平均達成率	571%	総合所見	平成30年7月豪雨により被災した産地基幹施設を復旧し、当該地域の生産基盤が回復し、成果目標も達成した。
-----------	------	------	---

- (注) 1 別紙様式 1 号の 1 に準じて作成すること。
 2 要領第 7 のただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。